

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

瀬戸内海の環境保全・創造研究

ワークショップ

瀬戸内海の栄養塩循環

— 播磨灘を例とした瀬戸内海の栄養塩管理に向けて —

本ワークショップは環境研究総合推進費（課題番号：5-2005）の成果発表も兼ねています。



日時：令和4年12月14日（水）13:15～17:00

会場：三宮研修センター 6階605号室（神戸市中央区八幡通4-2-12）

参加費：無料

定員：60名（先着順）+ Web参加 300名（WebシステムはZoom Webinarを使用）

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議

後援：（公社）瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、
ひょうご環境保全連絡会

プログラムは裏面にあります

参加申し込み

(1) Web参加の方（下記URLより参加申し込みしてください。）

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_qn8809cST029_TZgWzTI3A

QRコードはこちら



(2) 会場参加の方（下記①又は②により参加申し込みしてください。）

① Googleフォーム

<https://forms.gle/oTbyiAgzqJHDDHX5A>

QRコードはこちら



② Eメール

件名を「ワークショップ参加申込」としていただき、次の

1)～3)を明記の上、瀬戸内海研究会議 (web@seto.or.jp) にお申込みください。

1)氏名（ふりがな）、2)所属名、3)連絡先（Eメール、電話番号）

会場のご案内



【アクセス】

・JR三ノ宮駅中央改札口からフラワーロードを南へ徒歩5分

・地下鉄、阪急、阪神「三宮」徒歩5分

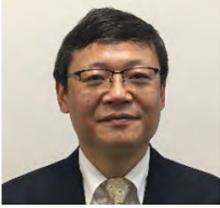
会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください

- ・ご入場は必ずマスク着用にてお願いします。
- ・受付時、アルコール消毒をお願いします。
- ・当日、発熱や体調不良のある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・マスク未着用の方は、ご入場をお断りさせていただきますので、ご了承ください。

趣旨

瀬戸内海の栄養塩濃度変化を理解するには、3つの起源(陸域、底質、外洋)の栄養塩の時間変化を考えなければならないが、陸域からの栄養塩負荷の変化だけで議論されているのが現状である。そこで、本ワークショップでは、最新の研究成果に基づいて、瀬戸内海の播磨灘を対象に、栄養塩に占める陸起源、底質起源、太平洋起源の各栄養塩の割合、及び外洋と底質から供給される栄養塩量の時間変化を紹介する。さらに、物理-底質-低次生態系結合モデルによって、陸域からの栄養塩供給量を変化させた場合に、播磨灘の栄養塩濃度がどのように応答するかを示し、播磨灘を含む瀬戸内海の栄養塩管理法について提案する。

プログラム

13:15~13:20	開会あいさつ	松田 治 (特非) 瀬戸内海研究会議理事長
13:20~13:25	趣旨説明	駒井 幸雄 (特非) 瀬戸内海研究会議副理事長兼企画委員長
13:25~14:05	播磨灘における海洋環境の変遷 吉江 直樹 愛媛大学沿岸環境科学研究センター 講師	 <p>瀬戸内海では、人間活動や気候変動により栄養塩濃度の減少や海水温の上昇等の環境変化が生じており、それらの影響が生態系にまで及んでいる可能性が指摘されている。ここでは、播磨灘における長期的な環境変化と生態系影響の可能性について紹介する。</p>
14:05~14:45	底泥中に含まれる生元素から播磨灘の環境および栄養塩溶出の変化を語る 中國 正寿 香川大学農学部 博士研究員	 <p>海の底泥の深いところは昔に積もったもので、浅いところは近年積もったもので構成されている。従って、それらの鉛直分布は、過去から現在の海洋環境の歴を映す。本項では、播磨灘の底泥から還元された当海域の環境および底泥から栄養塩溶出の変遷を紹介する。</p>
14:45~14:55	休憩	
14:55~15:35	一次生産から底質の溶出を含めた播磨灘における水柱の窒素とリンの循環 多田 邦尚 香川大学農学部 教授	 <p>瀬戸内海では、植物プランクトンによって栄養塩からどれだけの粒子態窒素とリンが生成され、それらが水柱でどれくらい分解され、堆積物に埋没し、間隙水から水中に戻るのか？播磨灘において、明らかとされたこれら物質循環の結果を発表する。</p>
15:35~16:15	瀬戸内海における河川起源と外洋起源栄養塩の挙動 郭 新宇 愛媛大学沿岸環境科学研究センター 教授	 <p>瀬戸内海には河川から流入する栄養塩以外に、外洋水の流入に伴う太平洋起源栄養塩もある。これらの栄養塩について瀬戸内海における空間分布と季節変化、さらに栄養塩現存量と基礎生産への寄与を数値生態系モデルで調べた結果を報告する。</p>
16:15~16:55	播磨灘の淡水と栄養塩の起源 森本 昭彦 愛媛大学沿岸環境科学研究センター 教授	 <p>数値生態系モデルにより調べた、播磨灘に存在する河川起源の淡水と栄養塩に対する播磨灘周辺の各河川の寄与率とその分布と、主要な河川からの栄養塩負荷量を変化させた場合の播磨灘の栄養塩濃度の変化について発表する。</p>
16:55~17:00	総評	駒井 幸雄 (特非) 瀬戸内海研究会議副理事長兼企画委員長
17:00~	閉会あいさつ	春名 克彦 (特非) 瀬戸内海研究会議副理事長

【問合せ先】 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議事務局 Tel:078-241-7720 Fax:078-241-7730
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館5階
TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730 E-mail: web@seto.or.jp